シップリサイクルに関する国際船主団体会議開催

5月14日(月)、アジア船主協会(ASA)シップリサイクル委員会(SRC)は、香港における ASA 総会開催の機会を捉え、当協会の主導により、シップリサイクルに関して国際船主団体が一堂に会する初めての会議を開催した。

国際海運会議所 (ICS)、国際独立タンカー船主協会 (Intertanko)、欧州船主協会 (ECSA)、ボルチック国際海運協議会 (BIMCO) が参加し、ASA からは Dr. Yeh 同委員会委員長および友田当協会解撤幹事長等が参加した。

同会議では、世界の堅調な解撤需要の受け皿として、シップリサイクル条約(香港条約)要件適合ヤードの拡充を急ぐ必要性を確認。並行して同条約の早期発効を目指し、関係政府への条約締結働きかけの強化、IMO に対する同条約発効促進組織立ち上げ要請等の具体的な協働活動目標を設定し、共同声明として取りまとめた(添付)。条約発効には、主要解撤国のインドおよび中国の締結が不可欠であり、特に両国への働きかけを強く行っていく。わが国の条約締結が諸国の条約締結を一層促すものであり、今国会での条約締結に係る法案成立に強く期待する。

今回、スケジュールの都合で不参加となった国際乾貨物船主協会(Intercargo)とも連携して対応しており、今後も同会議を ASA 総会時に定期的に開催することとした。



※ アジア船主協会 (Asian Shipowners' Association) は、アジア地域の船主間の相互信頼と協力関係の育成を目的に、1992 年に日本船主協会の提唱により設立。アジアの8地域/国(豪州、中国、香港、インド、日本、韓国、台湾、アセアン(ブルネイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム)) の船主協会により構成されている。











25 May 2018

JOINT PRESS RELEASE

Global Shipowners' Meeting (coordinated by the Asian Shipowners' Association (ASA) and attended by BIMCO, ECSA, ICS and INTERTANKO) reaffirms commitment to the Hong Kong Convention and the need for a global solution for environmentally sustainable ship recycling.

A group of leading international shipowners' associations met in Hong Kong on 14th May to consider the next steps to take in bringing the Hong Kong International Convention for the Safe and Environmentally-Sound Recycling of Ships, 2009 (HKC) into force.

Noting the expected increase in demand for ship recycling in 2018, particularly in the tanker sector, and after reviewing the increasing need to expand the number of Hong Kong Convention compliant ship recycling facilities around the world, the joint industry meeting agreed that the entry into force of the HKC was critical. To be able to bring the HKC into force however, it is essential that the ship recycling States commit to improving the standards of ship recycling and ratify the HKC. In this regard, the participating associations would:

- Encourage member associations to approach their respective governments to hasten the process of ratification of HKC;
- Encourage national associations to request their respective governments to include ratification of the HKC as an agenda item when having an opportunity to talk with officials of the ship recycling states;
- Encourage all ship recycling States to ratify the HKC; and,
- Encourage IMO and its member States to establish a team for early enactment of the HKC under IMO which would act as a focal point for activities of the concerned stakeholders including governments, recyclers, workers, shipowners and observer organisations.

The participating associations also reviewed the status in Europe of the European Union Ship Recycling Regulation (EUSRR) and the EU List of Recycling Facilities. It was noted that there is expected to be a lack of facilities on the EU List when the Regulation enters into force the 31st December 2018 as well as the fact that until now no non-EU ship recycling yard is included in the EU list. In this respect, the shipowners associations urge the European Commission to increase the recycling capacity on the EU List with the inclusion of facilities outside of Europe.

共同プレスリリース(仮訳)

世界的船主団体会議が、ASA の呼びかけにより、BIMCO、ECSA、ICS および INTERTANKO の参加の下開催された。環境適合し持続可能なシップリサイクのためには、香港条約の順守と、全世界で単一の処方が必要なことを再確認した。

主要な国際船主団体が、安全と環境に配慮したシップリサイクルのための香港国際条約(HKC)を発効させるために取るべき対応について検討するため、5月14日に香港で会した。

2018 年、特にタンカー部門での解撤需要の増加が予想されていることを踏まえ、また香港条約要件充足リサイクルヤードを世界中に拡充する必要が高まっていると認識されたことを受けて、会議では、HKC の早期発効が重要であるという点で一致した。しかし、条約発効のためには、主要解撤国が、解撤に係る水準の改善を約束し、HKC を批准する必要がある。

この関連で、参加団体は、

- HKC 批准を早めるべく関係政府へ働きかけるよう、会員へ促すこととする。
- 解撤国政府との会談の機会に、議案の 1 つとして HKC 批准を含めることをそれぞれの 政府へ求めるよう、各国船主団体へ促すこととする。
- 全ての解撤国へ HKC を批准するよう促すこととする。
- IMO の下に HKC 早期発効のためのチームを設置するよう、IMO および加盟国へ促すこととする。同チームは、政府、解撤事業者、労働者、船主および関連団体を含む関係者の活動の中心として機能するものである。

参加団体は、EU シップリサイクル規則および EU(承認ヤード)リストの現況を確認した。EU 規則が 2018 年 12 月 31 日に効力を生じるとき、それまでに EU リストに EU 域外ヤードが含まれなければ、EU リストに掲載される施設の能力不足が予測されることに留意した。この関連で、船主団体は、EU リストに EU 域外ヤードを含め解撤能力を増加するよう、欧州委員会(EC)に求める。